

【基本戦略】

【施策の方向性】 ※赤字：宿泊税活用事業

【数値目標】

基本戦略1

観光産業の安定的な
経済活動と地域貢献

1-1 季節変動の平準化と雇用の安定 (従業員の所得向上・福利厚生充実)

- ・夏の誘客に向けた取組 (ベジピク、アンヌプリ周遊スタンプラリー)
- ・MICE強化に向けた取組・教育旅行、修学旅行対応の強化
- ・特定地域づくり事業協同組合制度の検討、創設
- ・潜在的労働力の掘り起こし (スキマバイト)
- ・人財確保モデル事業による職員採用・職場定着支援

1-2 観光事業における域内調達率 (材料・雇用等) の向上

- ・e旅納税 (旅行者現地決済型ふるさと納税) の推進
- ・町内事業者連携を要件とした補助制度の継続
- ・潜在的労働力の掘り起こし (スキマバイト)

1-3 観光事業者の地域コミュニティへの貢献 (カーボンオフセット等)

- ・e旅納税 (収入の一部は地域コミュニティに還元) の推進
- ・民間有志による寄付付き商品の開発・販売 (NIS-ECOプロジェクト)
- ・**観光事業者の省エネ改修等への支援 (脱炭素・再エネ推進補助金など)**

観光消費額の向上

延べ宿泊者数の増加

基本戦略2

観光客の多様な価値観への
対応と受入環境の整備

2-1 観光客への特別な観光体験 (宿泊・食・アクティビティ等) の提供

- ・着地型旅行商品の開発・強化
- ・スカイバスニセコ・**アンヌプリシャトルの運行** (倶知安・ニセコ両観光協会)
- ・夏の誘客に向けた取組 (ベジピク、アンヌプリ周遊スタンプラリー)

2-2 観光客・町民の地域資源 (自然・文化・歴史) への理解促進

- ・町民向け割引・特典情報の発信 ・カレーライス物価の発信
- ・ニセコ高校と連携した取り組み (ラベンダープロジェクト、SDGs旅行商品の開発、双子のさくらんぼの木後継樹プロジェクト)
- ・Green DestinationsやUN Tourism Best Tourism Villages、などの周知・PR

2-3 安全で快適に観光できる受入環境の整備

- ・スカイバス、**周遊バスの運行** ・**カーシェア実証導入** (通年)
- ・バスロケーションシステムの導入 ・バス車内Wi-Fi導入
- ・**バス路線におけるキャッシュレス決済の導入**
- ・**冬期タクシー不足対策** ・**アンヌプリ-モイワ間冬季除雪**
- ・デジタルマップの活用 (グルメマップ、スタンプラリー)
- ・AIカメラによる混雑状況可視化 (綺羅乃湯)

観光消費額の向上

観光客満足度アップ

新規来訪者の増加
※リピーター増も目指す

基本戦略3

観光によって町民生活の
質を高める

3-1 観光客の環境配慮型行動の喚起

- ・ニセコルールの周知徹底
- ・ドギーバック (食べ残し食品持ち帰り) の導入
- ・Green DestinationsやUN Tourism Best Tourism Villages、などの周知・PR

3-2 地域の魅力や観光の取組の情報発信 (インナーブランディング含む)

- ・「ニセコ価格」対策への取組
- ・ニセコ高校と連携した取り組み
- ・子ども向け体験機会の提供 (星空ツアー招待、ホテル見学、植樹など)
- ・地域貢献事業者・商品の積極的活用
- ・地域おこし協力隊による情報発信 (note、SNSなど)
- ・町民向け割引・特典情報の発信
- ・ゲーム「Ghost of Yotei」との連携 (コラボ商品開発、PRなど)

3-3 観光関連の起業を増やし、自然・文化の継承に寄与

- ・起業支援補助の拡充、要件の一部緩和
- ・町内事業者連携を要件とした補助制度の継続
- ・地域おこし協力隊の受入と活用

観光での環境負荷減

住民満足度の増加